

ブルンジ月報（２０２１年７、８月）

１．内政・外政

７月

- １日、ブルンジ人人権活動家のルクキ氏（Mr. Germain RUKUKI）が４年間の収監を経て解放される。同氏は、２０１５年にンクルンジザ前大統領に対するデモの最中に暴動に参加し国家治安を脅かした等の罪で２０１８年に禁固３２年を言い渡されていたが、先週（注：２０２１年６月末）、控訴裁判所により禁固１年に減刑された。（BBC）
- ２日、ンギレンヘ・ルワンダ首相がブルンジ訪問、ブルンジ独立記念式典に出席（１日）。ンダイシミエ大統領が同首相を歓迎する言葉を述べ、同首相は両国関係の正常化に向けた関係構築に言及した。（RNA）
- ５－６日、ブジュンブラにて、ブルンジ、コンゴ（民）、ルワンダ、ウガンダ及びタンザニアの軍諜報部の長官らが会談を実施。コンゴ（民）東部の武装勢力根絶のためのアクションプラン策定のための議論がなされた（SOS Media Burundi）。
- １２～１４日、ンダイシミエ大統領が関係閣僚とともにコンゴ（民）を訪問。チセケディ・コンゴ（民）大統領との面談したほか、武装勢力に対する合同作戦、経済成長促進、ギテガ（ブルンジ）-キンドウ（コンゴ（民））間の鉄道建設等に関する覚書に署名。（RNA、BBC、The East African）
- １６日、ンディクマナ保健大臣が、ウガンダ及びソマリアからの入国者３名からデルタ株が確認されたと発表（IWACU）。
- １６～１７日、ハッサン・タンザニア新大統領が関係閣僚とともにブルンジを訪問。両国間の投資促進や国境管理の強化について意見交換を行った（IWACU）。
- １３日、ンダイシミエ大統領は、鉱物資源（金、レアアース、コルタン）採掘に関わる全ての外資系企業の操業停止を指示。（RFI）
- ２５日、ブルンジ政府が、新型コロナウイルス感染症に関するレポートを発表。累計感染者数６，５７３名、回復者６，００２名、死者８名。レポート発表までの４日間で５５５件の新規感染が確認され、ブルンジでコロナ発生以降、最多増加数。（IWACU）
- ２８日、ルワンダ人３人が違法に越境したとしてブルンジ北部のキルンド地域で逮捕。目撃者は、逮捕された３人は牛の牧草を採取しているうちに越境し、与党青年団インボネラクレに捕らえられたと証言。（RNA）
- ２９日、ノルウェーのキリスト教系支援団体 Norwegian Church Aid が、雇用者の民族割合に対するブルンジ政府の要求を理由に閉鎖すると発表。同団体関係者によれば、ブルンジ政府が求める民族割合を満たすため、フツ族を新規雇用するよう同政府から要求があった。同団体は、主にブジュンブラ及びキルンドにおいて、衛生、平和構築、気候変動対策の分野で活動を行っており、約３０名を雇用している。（RNA）
- ３０日、ンディクマナ公共保健・エイズ対策大臣が、世銀のオファーに応じ、COVA

Xを通じた新型コロナウイルス・ワクチンを受け入れると表明（25日）。ブルンジ政府は、前日にIMFと7,800万米ドルのコロナ対策支援に合意していた。ただし、ブルンジ政府は、ワクチンの副反応の対応には関与しないとした。（The East African）

- 30日、ルワンダ政府が、2020年9月に起きたカヨンザ県で起きた襲撃事件に関与したとみられる19名の被疑者をブルンジ当局に引き渡した。（RNA）

8月

- 3日、ブジュンブラで8月6—15日に開催されるイベントで公演予定だったルワンダ人歌手3人の出演をブルンジ内務・自治体開発・市民保護省が差し止め。（RNA）
- 3—5日、第58回アフリカ集会（Caucus Africain）をブジュンブラで実施。同集会はアフリカ諸国の財務・経済大臣レベルの会合で、1963年より世銀やIMFを招待して行われている。（IWACU）
- 4日、米国が、ブルンジ人に対するビザ制限を撤廃。（ANADOLU Agency）
- 6日、ブルンジ・カヤンザ県知事がルワンダ・南部県知事を訪問。7名のルワンダ人不法滞在者をルワンダ側に引き渡した。また、両国国境の治安維持のため協力することに合意した。（RNA）
- 12日、与党青年団インボネラクレ所属のブルンジ籍4名が、コンゴ（民）東部の南キブ州で身柄拘束。コンゴ（民）の軍関係者によれば、4名は国道沿いで襲撃を画策していたと自白している。（RNA）
- 14日、政権寄り野党のUpronaが指導部体制を刷新。ンクルンジザ（Mr. Olivier NKURUNZIZA）氏が党首となった。（IWACU）
- 20日、ブニヨニ首相がメディアの取材に応じ、ブルンジ・ルワンダ関係について、国交正常化に向けた努力が行われているものの、ルワンダ側が依然としてニヨンバレ（Gen Godefroid NIYOMBARE）将軍をはじめとする2015年のクーデタ未遂の首謀者かくまっていると発言。（RNA）
- 19日、国際NGOが国連人権理事会宛に協同で書簡を送付、2017年に設置された対ブルンジの調査委員会の任期の延長を求めた。（RFI）
- 20日、ンダイシミア大統領が、ブジュンブラ国際空港におけるコロナ検査センターの除幕式に出席。（IWACU）
- 21日、ルワンダ政府が、犯罪の嫌疑がかけられた2名のブルンジ人をブルンジ政府に引渡し（20日）。（RNA）
- 25日、ンダイシミア大統領が法務省の高官に対し、汚職や手続きの遅れを厳しく非難。（BBC）
- 30日、ンダイシミア大統領が、与党CNDD FDDが主催するインボネラクレ記念日の式典に出席。スピーチにおいて、ルワンダとの早期関係改善に意欲を見せた（28日）。（RNA）

2. 経済

7月

- 29日、ブルンジ政府が、貿易情報ポータル（TIP）をインターネット上に立ち上げた。TIPは、輸出入及び移送に関する手続き、手数料、時間等に関する情報を提供するもので、同様のTIPは、ケニヤ、ルワンダ、タンザニア、及びウガンダですでに開始・運用されている。（RNA）

以上